

シグマ研究委員会

医学用原子分子・原子核データWG 拡大幹事会議事メモ

日時 昭和63年3月10日(木) 10:00-12:00
場所 日本原子力研究所本部第1会議室
出席者 尾内(癌研)、喜多尾(放医研)、中井(原研)、
中嶋(法大)、五十嵐、浅見(原研)
欠席: 沼宮内(原研)

配付資料

1. 「医学用核データ及び原子分子データのリクエスト・リスト作成のためのad-hoc委員会」委員
2. 医学用原子・原子核データ・ワーキンググループ(案)
3. 放医研所長から原研理事長への文書(写)
4. 原研理事長から放医研所長への返答(写)
5. 56年度第9回運営委員会議事録 抜粋

議事

1. 配布資料等の説明

浅見から資料1~5によりこのWGを設立した経緯等について説明があった。喜多尾氏および中井氏からこのWGの最近の活動状況について説明があった。

2. 今後の活動についての討議

自由討議を行った。出された意見および申し合わせ事項は次の通り。

- ・このWGでやるデータ編集の方針がはっきりしていない。
- ・何もやっていないと言われるが阻止能についてはやっている。
- ・この1年は確かに活動が停止していたが、それまではちゃんとやってきた。まとめをJAERI-Mレポートで出し配布した筈。
- ・データ集は既存のもので良いものがあるので、それに類するものはあえて作る必要はないと思ってる。
- ・このWGは医学分野とシグマ委員会との良いチャンネルになっていることを認識して欲しい。
- ・今後の計画の中で評価作業を考えているのか。
- ・やるのなら独立したWGでやった方が良い。
- ・核データ専門部会の特殊目的核データWGでも、カーマ、CPND、放射化断面積等をやろうとしている。

- ・データベースを作る計画がこのWGでははっきりしていない。また、テーマが広がり過ぎている。
- ・作業を外注することも可能である。
- ・運営委員会との連絡が不十分であったので、中嶋氏を正式のメンバーにする。
- ・このWGは今、核構造・崩壊データ専門部会に入っているが新しい専門部会を作ることも考えられる。
- ・核データ専門部会の特殊目的核データWGとともに特殊目的専門部会を作ったら良い。
- ・リクエストだけでなく評価も加ってきたら、目的に応じてメンバーを再検討したら良い。
- ・データベースを作ることを考えたらどうか。
- ・WGの性格を運営委にはっきり伝えて欲しい。

この結果、新しい専門部会の設立を運営委員会で検討してもらうことにした。また、62年度内のWG会合開催を検討したが無理なので、来年度早々に開催することにした。

(文責：浅見)